

# 2026年度 法科大学院

## 第1期末修者

## 入学試験問題

## (小論文方式)

### 試験時間 80分

#### 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- (2) この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
- (3) 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- (4) 解答は必ず【小論文1】の解答は【小論文1】の解答用紙に、【小論文2】の解答は【小論文2】の解答用紙に、記入してください。
- (5) 下書き用紙は回収しません。(解答用紙取り違えの申出には一切応じません)
- (6) 参照は不可となっています。
- (7) 解答用紙の取替え、追加配布はしません。
- (8) 試験問題の内容等について質問することはできません。
- (9) 問題冊子の余白等は適宜使用して構いません。
- (10) 試験終了後、問題冊子、下書き用紙は持ち帰ってください。

## [小論文1]

以下の文章を読んで、続く問いに答えなさい。(200点)

人は誰でも他人との関係の中で生きているので、言葉による意思の伝達が極めて重要である。何か伝えたいことがあれば、その内容を正確に伝える必要がある。誤った言葉遣いをすると、たとえば間違った道を教えられたり、手に入れられるはずのものを手に入れられなかったりする。困ったことには、相手を怒らせてしまうこともある。そのような事態を避けるには、まずどのような言葉でどのように説明すればよいか、頭の中でしっかり整理してみるべきだろう。面倒なことではあるが、それが安全かつ確実な作法である。

そのように言われて、あなたは反論するかもしれない。「それはどのような人と話をするかによるのであって、仲間と話すときはそんなに神経は使いません」と。なるほど、それは一見もっともな指摘である。たしかに、相当に親しい友人との語らいであれば、お互いに発言を重ねるなかで、それぞれ相手に伝えたいと思っていることが徐々に伝わっていく。そのプロセスは、どの道を通るべきか、どこへ行けば必要なものを手に入れられるかといった情報のやり取りに止まるものではない。お互いに軽口を挟んで場を盛り上げようと努力しているはずである。

そのような楽しいやり取りの中で情報の伝達も済ませることができのなら、何か不幸な事が起きるとはとても思えないだろう。しかし、実際はそれほど単純ではない。一緒に愉快地過ごしている間、常に落とし穴が顔を覗かせている<sup>(1)</sup>。あなたと親しく話している人たちも、言葉に関する寛容度はそれぞれ違う。少しばかり想像を働かせてみよう。授業の合間に仲間と勉強の話をしているとして、何か間違ったことを言った人にあなたは「おまえ、バカか!」と言えるだろうか。もし、あなたがその人の学力を向上させようと真摯に協力しているのであれば、これも友の発展を願った激励の言葉だと評価されるかもしれない。およそそのような背景がなく、しかもあなたに相手を叱責する意図がないのであれば、あなたは軽口を叩いているのである。それはすなわち、そうした表現は軽口の類であって非難される言葉ではないという感覚をあなたが有していることを意味する。

もちろん、問題は相手がそれをどう受け止めるかである。先に述べたように言葉に関する寛容度は人それぞれ違うけれども、広く今日の日本社会を眺めた場合、どうやら精神的に傷を負ってしまう人が増えているようである。その人たちはバカと言われて心の中に生じたしこりを浄化しきれないのだと思う。もちろんバカ発言はほんの一例で、他人を傷つける言葉はいくらでもある。傷つきやすい人を傷つけないようにする<sup>(2)</sup>のは、本当に難しい。交友関係が窮屈になるのも困りものである。

問1 下線部(1)が意味するところを500字程度で説明しなさい。

問2 下線部(2)を実現するためにはどうすればよいか。あなたのアイデアを500字程度で記しなさい。

## [小論文2]

下記の【課題文】を読み、その内容を踏まえた上で、【問1】と【問2】に答えなさい。  
解答は、解答用紙 [小論文2] に記入すること。[小論文2] では、字数指定はない。解答  
の際には、問いの番号を明記して解答すること。

### 【課題文】

<省略>

<社説 毎日新聞 2025年6月7日より>

### 【問1】(50点)

少子化の原因と問題点について、課題文を踏まえて、あなたの考えを記しなさい。

### 【問2】(50点)

少子化対策の現状と課題について、課題文を踏まえて、あなたの考えを記しなさい。